



平成29年度  
宇陀市まちづくり活動応援補助金  
成果報告書



宇陀市企画財政部 まちづくり支援課

平成30年8月

## 目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1
各事業の成果 ※以下事業名（ ）内は実施団体名	
(1) 三本松地域活性化 町並みにぎわい事業 (三本松まちづくり協議会)	2
(2) 地産地消の学校給食と地域力向上計画 (宇陀ランチ・プロジェクト)	3
(3) ～町おこしは人おこし～魅力発見♪うたの手づくりフェスタ♪ (うたの夢街道実行委員会)	4
(4) 宇陀スカイランタンフェスティバル (宇陀スカイランタンプロジェクト)	5
(5) コミュニティ公園づくり (天満台西3丁目自治会)	6
(6) いなさの里・灯籠流し(伊那佐『灯』Mate2017) (伊那佐地区まちづくり協議会 地域振興、産業、観光部会)	7

## 「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

### 補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

### 審査・評価の方法

#### ①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

#### ②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。
	・自主性をもった企画・運営となっているか。
	・地域活動支援の目的と合致しているか。
公益性	・事業の成果が広く地域に還元されるものか。
	・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。
	・市の施策と方向性が合致しているか。
	・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか。
	・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。
	・ほかの方法で代替できないものであるか。
	・経費の使途が適切なものか。
実現性	・目標（達成すべきこと）が明確なものか。
	・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。
	・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

### 審査委員

氏名	所属・職
反田 博俊	奈良NPOセンター理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
紙谷 尚永	公募委員
染田 恵子	奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課
中野 理	宇陀市役所 副市長

※審査委員会（平成29年3月25日）現在

# 三本松地域活性化 町並みにぎわい事業 【継続3年目】

補助金額  
300,000円

三本松まちづくり協議会

## 補助事業の実施内容

1. 観光ボランティアガイド・語り部育成事業
  - ・交流人口で三本松地域を活性化するため、中心となる観光ボランティアガイドの育成
  - ・ガイド説明用物品整備事業
2. 三本松ガイド冊子作成事業 『三本松歴史散策 私たちのふるさと』
  - ・三本松の自然や歴史・文化財・伝承など地図と写真を交え掲載
3. おもてなし事業 『歴史散策ウォーキング』
  - ・三本松から室生寺へ至る歴史の道「大師の道」を歩く
4. マスコットキャラクター活用事業

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

1. 観光ボランティアガイド育成事業  
先進地視察など野外学習を実施し、ガイドの方法を学ぶことができ、今後完成した歴史散策冊子を有効利用して、ガイドの見識を高めるとともに、ガイド活用を進めていく。
2. 三本松ガイド冊子作成事業  
「歴史散策マップ」に紹介の歴史的施設等を主題に、数回の委員会を重ね、三本松歴史散策「私たちのふるさと」を発刊できた。郷土をまとめたこの冊子を全戸配布し、観光ボランティアガイドや住民が地域の良さの再発見と外部へのPRに活用して頂く事を期待している。
3. おもてなし事業(歴史散策ウォーキング)  
多くの方に参加して頂き、古代に栄えた大師の道(三本松長瀬～室生寺)をウォーキング。参加者の交流を深めると共に、初めて大師の道を歩く方もあり、三本松地域の再発見に良い機会となった。

### 事業実施団体

名 称	三本松まちづくり協議会
所在地	宇陀市室生三本松2091番地
設立の経緯・目的	平成26年2月にまちづくり協議会を設立し、三本松地区の住民相互の交流と親睦を図り、歴史・文化・伝承継承・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与することを目的としている。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道の駅を中心とし地域コミュニティの拡大に向けた活動</li> <li>2. 自主防災活動</li> <li>3. 見守り・声かけサポート運動</li> <li>4. 市道・里道等の環境美化活動</li> <li>5. 伝承継承で神社、寺等での行事への支援広報活動</li> <li>6. 住民の交流では、ふれあい夏祭り・運動会・敬老会の開催</li> <li>7. 地域計画の策定に伴う事業</li> </ol>

# 地産地消の学校給食と地域力向上計画 【継続2年目】

補助金額  
400,000円

## 宇陀ランチ・プロジェクト

### 補助事業の実施内容

1. 地産地消の学校給食を推進する(20%の実現)
2. 遊休農地を活用した体験農園と給食野菜づくり
3. 宇陀の食材を使った食育活動
4. 市内の農産物と店舗を結ぶ情報収集活動

### 【事業実施の様子】



### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・宇陀ランチプロジェクト納入野菜が昨年度の2倍を超える5733kgになった。
- ・宇陀市学校給食の地産率も30%を超えることになり、大きく貢献した。
- ・遊休農地を活用した体験農園を3回実施し、116名の参加があった。  
4/29田植え 6/10ジャガイモ収穫 12/9 くらま大根の収穫
- ・室生小学校で「うだ野菜の日」にランチプロジェクト農家が講師となり「ふれあい授業・給食」を2回開催し生徒の食育教育が進展した。

給食センターの積極的な協力で生まれた「うだ野菜の日」は、農家の生産意欲の向上と子ども達は「ふれあい授業」を通して分かりやすい食育教育となった。室生小学校以外の学校にも開催実施を30年度に勧めたい。

### 事業実施団体

名称	宇陀ランチ・プロジェクト
所在地	宇陀市榛原天満台西1丁目12-7
設立の経緯・目的	平成27年宇陀ひと・まち・しごとづくり委員会も公募委員として議論に参加する経緯から委員会での提案を実現するために有志を募り、宇陀市活性化の一助になる取組を確認してこの団体を平成27年12月10日に設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地産地消の学校給食の推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>①給食野菜の市価調査 ②集荷・納入体制の基礎作り ③重点野菜計画栽培作り ④地産地消給食推進の意見交換会6回</li> </ol> </li> <li>2. 遊休農地の体験農園で給食野菜作り             <ol style="list-style-type: none"> <li>①遊休農地3～5aの確保 ②ジャガイモ栽培体験 ③田植え、稲刈りの体験農園 ④くらま大根の収穫体験</li> </ol> </li> <li>3. 食育イベントで市民交流             <ol style="list-style-type: none"> <li>①野菜たっぷりジビエカレー ②羽釜で炊いた「新米おにぎりパーティー」 ③漬物道場、くらま大根からし漬</li> </ol> </li> <li>4. 宇陀ランチ・プロジェクトNEWS・特別号発行・配布</li> </ol>

～町おこしは人おこし～魅力発見♪  
うたの手づくりフェスタ♪

補助金額  
450,000円

うたの夢街道実行委員会

補助事業の実施内容

菟田野地域在住の「人」の魅力を再発見し、フェスタでの交流を通じて「町を知る」「人を知る」「自分を知り」「菟田野への愛着」を育てる。

フェスタ開催 10月29日実施

「健康なからだを作ろう」・「手づくりしよう」を軸に菟田野地域で活躍する人や、モノに触れて、知り、体験を通じて交流を深める事業を開催する。「ウエルネス体操」「木工教室」「毛皮小物作り」「コケ玉作り」展示ブース、販売ブース、防災コーナー等を通じて世代間交流や地域間交流に繋げる。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

「手づくりフェスタ」の主旨である「健康なからだを作ろう」「手づくりしよう」に共感者も多く、体験を通じて地域や人、事、もの、自らの身体を顧みれる良い機会になったと喜びの反応を多く聞いた。

小さなお子さんから高齢者まで幅広く参加して頂く事ができた。

「地域のみinnで繋がる事業」に多くの期待が寄せられ、参加者からは、「来年もしてほしい」「次は準備から参加したい」と意見があり、またひとつ「地域愛」やつながる事の楽しさが加速したと手応えがあった。

市外からの来場者も多く、宇陀市菟田野を代表する「奈良カエデの郷 ひらら」に初めて訪れる方も多く、市内外へのPRにも努められた。

事業実施団体

名 称	うたの夢街道実行委員会
所在地	宇陀市菟田野古市場
設立の経緯・目的	菟田野地域の活性化と魅力あるまちづくりを目的とし、「うたの夢街道」の企画・運営及びそれに追随する事業を実施するため設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>2009年(H21)より春に「うたの夢街道」を実施。</li> <li>宇太水分神社を中心に古市場街道筋の賑わい作り、観光PRを行っている。</li> <li>2012年(H24)、奈良県まちづくりコンシェルジュと「古市場」まちづくりマップの協働作成。</li> <li>2015年(H27)、宇陀市市政10周年事業「薪能」を開催。地域に根付き、地域の人々と共に人々が集い、世代間の交流ができる場づくりを行っている。</li> </ol>

## 宇陀スカイランタンプロジェクト

### 補助事業の実施内容

10月21日(土)実施

宇陀市を盛り上げよう！地域に貢献しよう！という趣旨から、世界中で話題になっている『スカイランタン』を使い宇陀市の新たな町おこしを行う。

安全に配慮して空に舞うランタンの構想をLEDに変え、大空に舞う幻想的な光に包まれランタンに個々の思いや夢を乗せたランタンを大空へ放つ。(雨天のため中止)

地元野菜を使った料理店や地域で商売されている方々の創意工夫した飲食に提供、物販など市民交流と宇陀市の魅力を提供する。

### 【事業実施の様子】



### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

当日は、台風・豪雨の影響もありスカイランタンの打ち上げは実施出来なかったが、キッズフリーマーケットや地元の食材を使った飲食イベント、クラフト販売などには多数の来客があり賑わった。奈良県初の野外イベントで当初から多くの方に注目を頂き、スカイランタンイベントに関しては関西一円の方々からの問い合わせも多く、宇陀市を知って頂くには十分アピール出来たと思います。宇陀市をもっと元気にしたいと各企業からは熱い援助や、出店された方、ボランティアスタッフとの新しい出会い、宇陀市を考える良い機会に恵まれたと思います。

### 事業実施団体

名称	宇陀スカイランタンプロジェクト
所在地	宇陀市榛原自明1358番地
設立の経緯・目的	宇陀スカイランタンプロジェクトの運營業務を円滑に行い、地域活性化のための活動を行う事を目的とする。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大空に舞うスカイランタンを使ったイベント(LED)</li> <li>2. 地産の食材、商品を使ったブースの出店</li> <li>3. 音楽・映像などのイベント</li> <li>4. 人気キャラクターショー</li> <li>5. 子どもフリーマーケット</li> <li>6. その他宇陀市に貢献できうるイベントなど予定</li> </ol>

天満台西3丁目自治会

補助事業の実施内容

- 周辺緑地の草刈り等の環境整備と収穫祭を開催し、地域コミュニティの活性化を目指す。
1. 花壇・広場の充実と公園周辺緑地の整備及び花の植栽(春はビオラ、チューリップ、秋は菊、コスモスが開花)
  2. 収穫祭や花の鑑賞会等のイベント開催(玉ねぎ詰め放題、花の無料配布、芋掘り大会、石焼き芋の振る舞い)
  3. 公園や周辺緑地に花の植付けや草刈り等の環境整備を地域住民と行い、花づくり・野菜づくりを通してコミュニティの活性化を進める。
  4. 子どもを対象に花・野菜の植付けから収穫までの体験学習。
  5. 住民から不要となったレンガ、石、花株等を譲り受け公園で再利用し環境に優しい街づくりを行う。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・木の種類が分からないほど蔭に覆われていたが、刈り取った結果桜が開花した。
- ・菜園で初夏の玉ねぎ詰め放題と花の無料配布、秋には子どもを対象にした芋掘り大会と石焼き芋の振る舞い等年2回の収穫祭を実施して大変好評であった。
- ・周辺の方にも環境整備に協力いただき、少しずつこの公園を通じて地域コミュニティが活性化してきた。
- ・収穫祭(年間2回開催)や花の鑑賞会の開催し、子ども達を対象にした体験学習等開催する。
- ・無料で振る舞っていた石焼き芋等を有料にして今後の維持管理費等に充てていく。

事業実施団体

名称	天満台西3丁目自治会
所在地	宇陀市榛原天満台西3丁目6-8
設立の経緯・目的	本会会員相互の親睦と調和を図り、居住者協力のもとに地域の健全な発展に寄与することを目的として設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居住者の良好な生活環境の維持向上に関する事</li> <li>2. 居住者の防災・防犯に関する事</li> <li>3. 天満台合同自治会、東榛原連合自治会、宇陀市連合自治会及び東榛原まちづくり協議会と連携し、地域の健全な発展及び親睦を図ること</li> <li>4. 会員相互扶助に関する事</li> <li>5. 会報、その他刊行物の発行</li> <li>6. 防犯灯の維持管理</li> <li>7. その他、目的達成に必要な事項</li> </ol>



# いなさの里・灯籠流し(伊那佐『灯』Mate2017)

補助金額  
500,000円

伊那佐地区まちづくり協議会  
地域振興・産業・観光部会

## 補助事業の実施内容

少子高齢化、核家族化等の影響もあり、住民間の疎遠化が進行しつつある中、地域住民の交流を意図して「灯籠流し」という日本の伝統的行事を導入、地域活性化の基礎づくりを行う。

継続して行うことで将来的には、伊那佐地区の観光資源に位置づける。

流し灯籠製作キットを伊那佐地区全戸配布する。

○イベント『語り部と巡る白山神社・八咫鳥神社』 8月26日実施

○メインイベント『いなさの里・灯籠流し』。

一部「式典行事、特別行事」 二部「灯籠流し」 9月23日実施

## 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

開催1ヶ月前にイベントとして「語り部と巡る白山神社・八咫鳥神社」の歴史学習を開催し、市外の人にも伊那佐の地域を知ってもらった。

メインイベント式典では、市長始め多くの来賓の参加のもと開会式典が行われ、オープニングに「室生獅子舞」の披露も行われ、ウッピーとの写真撮影や抽選会、ディスクゴルフなど多世代にわたり楽しむことが出来た。

流し灯籠キットを伊那佐地区全戸配布することで当日の参加を呼びかけ、榛原西小学校児童全員にも配布し灯籠への絵付けを協力してもらった。

会場周辺に308本(伊那佐地区戸数)の竹灯籠を製作し、夕刻から始まった灯籠流しでは「かぎろひ夢バンド」の演奏と歌声の中灯籠に託したそれぞれの思いが淡い光となって芳野川に幻想的な風景を醸し出した。

企画から準備に至るまで、まちづくり協議会の組織を見つめ直し今後まち協が取り組むべき課題が見つかった。また、地域住民の当事業への理解・協力が得られたことにより、各自治会より協力金による支援があった。

地域を中心とした広報活動に取り組んだこともあり、本事業の周知がなされ、当日は予想以上の参加者を得られた。これまで、地域住民が一堂に会する場が少なかったが本事業が地域住民としての交流の場となり継続を願う行事となった。

### 事業実施団体

名称	伊那佐地区まちづくり協議会 地域振興・産業・観光部会
所在地	宇陀市榛原母里522-3
設立の経緯・目的	伊那佐地区の住民相互の交流と親睦を図り、共通の利益の増進、生活環境の保持、改善に努力し文化・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与する事を目的に設立する。
主な活動内容	1. 歴史、文化、伝統継承等に関する事業 2. 産業振興等に関する事業 3. 地区住民の交流又は連携に関する事業 4. その他地域づくりに関する事業